

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-8603
 住 所 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地
 氏 名 デイ・ティ・ファインエレクトロニクス株式会社
 代表取締役社長 吉川 進 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	デイ・ティ・ファインエレクトロニクス株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 幸区小向東芝町1番地		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	28	電子部品・デバイス・電子回路製造業
主たる事業 の内容	集積回路製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,806 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 全体の基本方針

(1) DNPグループ環境方針に基づき、地球温暖化対策に関する目的・目標を定め、
定期的に見直し持続的改善に努める。

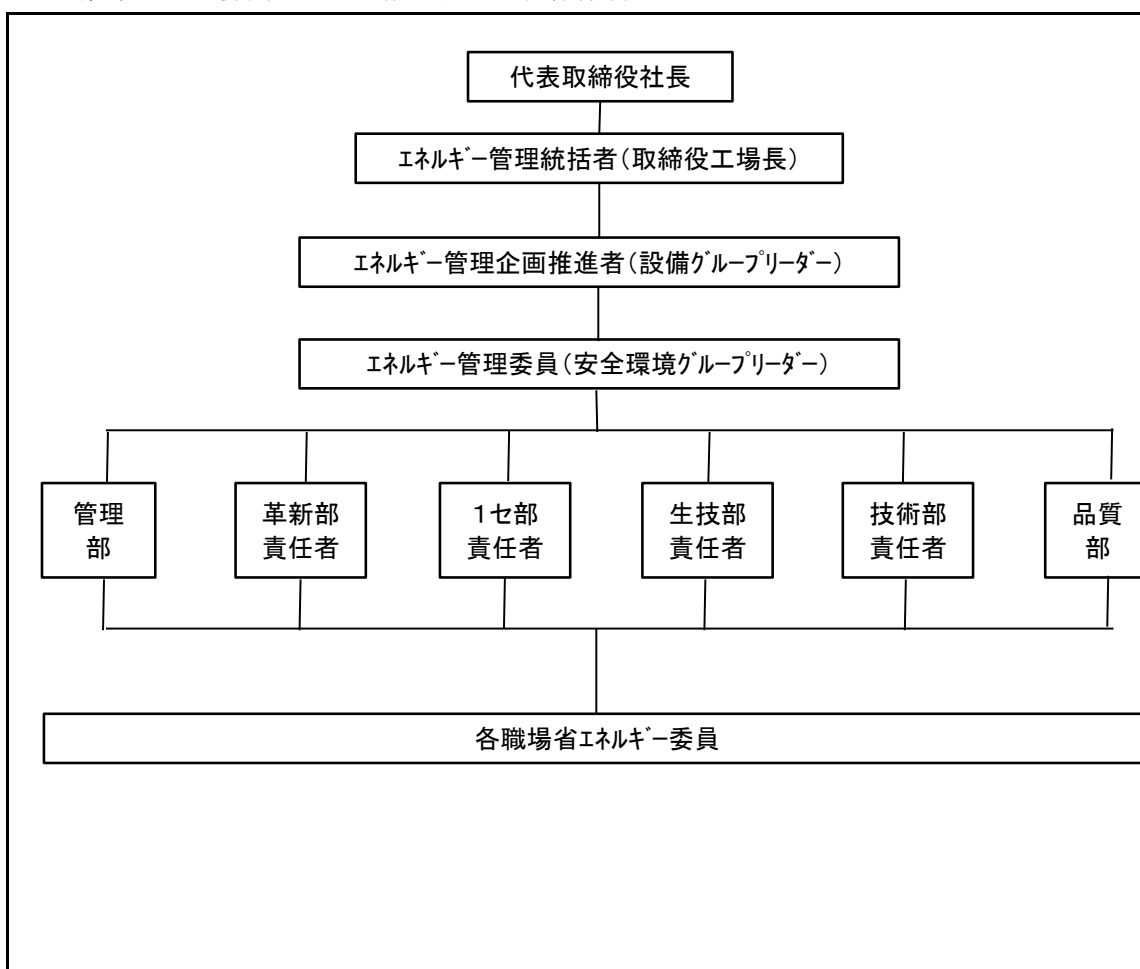
(2) 温室効果ガスの削減目標値達成に向け、具体的な施策を掲げ、全員参加の活動を推進する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

①温室効果ガス排出量削減計画に対する実績状況を月次で把握する為、環境委員会を開催し、組織全体で認識を図る。

②目標達成に向けての課題を明確にし、全員参加で対策を推進する。
以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 5,340 (調) 5,305 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 5,287 (調) 5,252 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量		(実) 53 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) 53.0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 1.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		設備稼働率	
原単位の単位		t-CO ₂ /%	
基準年度の値		158.6	
目標年度の値		157.0	
削減率		1.0 %	%

ウ 目標設定に関する説明

ベンチマークとなる2021年度は、工場全体で1回/3年の（GW連休時）特別高圧電源を停電させ点検を実施する為、クリーンルーム内の装置及び動力設備を停止させた事により、例年と比較し温室効果ガス排出量も大幅に少なかった。その為、2022年度は対前年度悪化目標となるが、最終目標年度の2024年には改善アイテムの発掘～実行により対基準年度1%削減を目標とする。

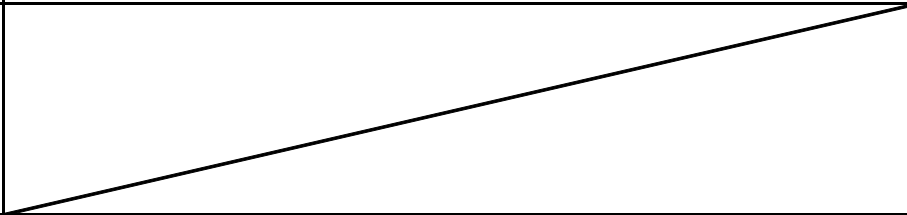
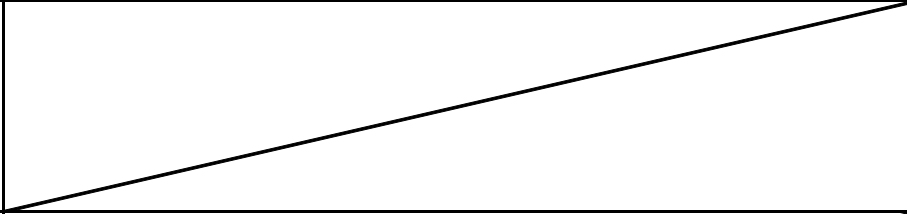
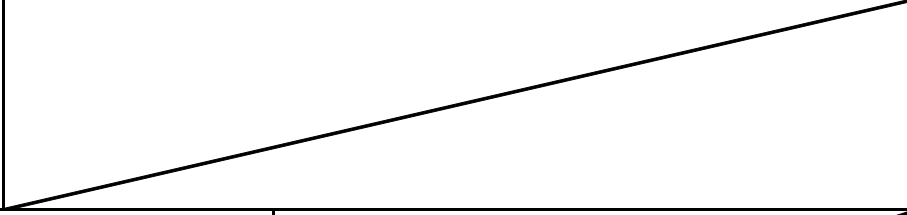
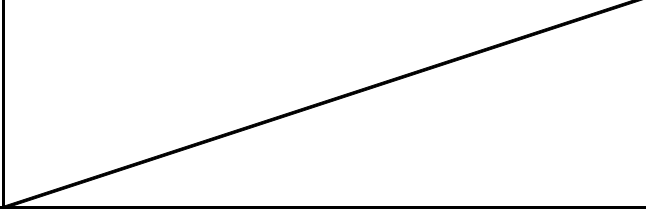
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

2021年度温室効果ガス排出量：5,340 t-CO₂ → 2024年度温室効果ガス排出量：5,287 t-CO₂
 2021年度の設備稼働率ベース維持により、2021年度原単位：158.6t-CO₂/% → 2024年度原単位157.0 t-CO₂/%を目標とする。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) DNPグループエコ活動に掲げる、温室効果ガス排出量削減に向け、全従業員に省エネ教育を実施し、意識の改革を図る。 (2) 定期的な省エネパトロールの実施による啓蒙活動を実施する。 (3) 新規設備又は改造時、省エネタイプ[®]の導入。 (4) クリーンルーム内の空調・室圧調整等による省エネの推進。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・空調機モーター省エネベルト化による節電 ・クリーンルーム用フィルター省エネタイプへの変更 ・空調機稼働調整による省エネ化 ・吸着塔モーターinverterの交換 ・空調機モーターベルトレス化改造
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	他社の敷地を借用し、事業活動を行っている為、再生可能エネルギー源の利用は困難な状況。
風力	○	〃
バイオマス	○	〃
未利用エネルギー	○	〃
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

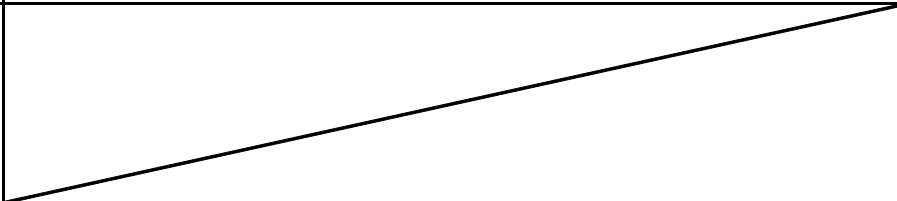
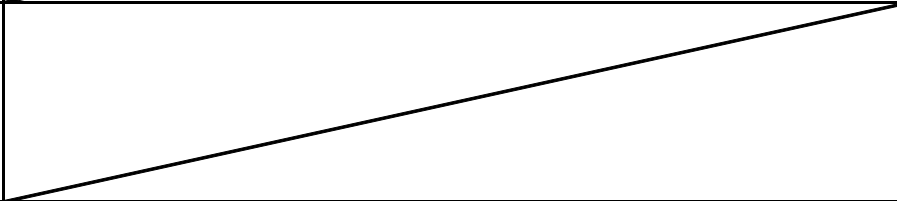
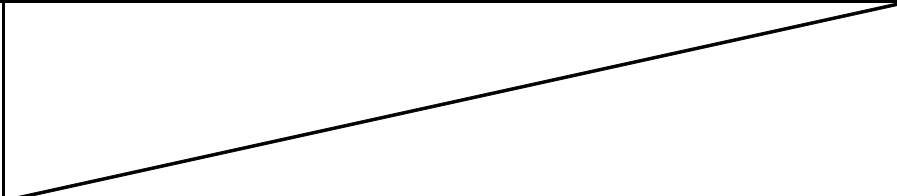
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
	再生可能エネルギー源利用計画無し	

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

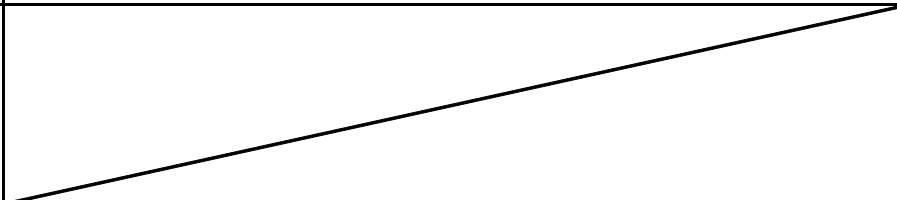
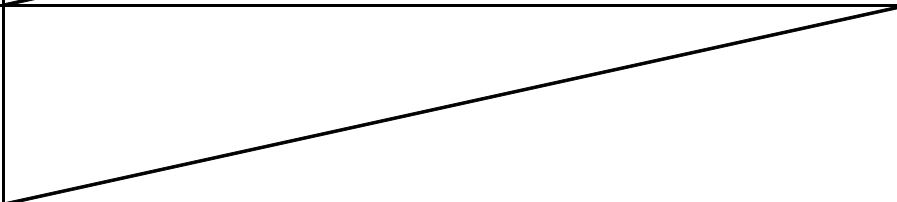
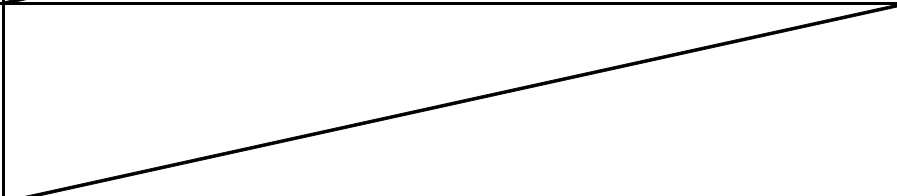
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	×
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	×

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	(1) 製品運搬及び部材購入時の物流回数削減による排ガス削減。 (2) 廃棄物収集運搬回数の削減及び混載化の推進により、 輸送用燃料使用量原単位：1%/年削減
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(1) グリーン購入の継続 (2) 廃棄物分別徹底によるリサイクルを推進し、廃棄物の削減を図る。 廃棄物排出量生産金額原単位：1%/年削減
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	5,340	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,806	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ディー・ディー・ファインエレクトロニクス株式会社	神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地	5,340 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂